

和の光

宝塚市立西谷中学校



面接練習が進んでいます

校長 筒井 啓介

公立高校の推薦・特色選抜、私立高校の入試に向けて面接の練習を行っています。みんな真剣に面接に臨んでおり、自分の考えをしっかりと述べることができます。面接後に感想を聞いてみると、「緊張しました」「他の人の答えと比べてしまう。みんなの回答が凄くて、不安になってしまった」など様々な声を聞かせてくれました。

受検（受験）する高校によって面接形式は異なります（個人面接または集団面接）が、私はみなさんの面接に臨む姿を見ていると、今までに友人、学年の先生方と面接練習を積み上げた成果が十分に感じ取れます。あとは、**当日（教科の筆記、小論文、面接など）に落ち着いて臨み、今までに身に付けた力を出し切ること、そして最後まで諦めないことが重要だと思います。**

さあ、自分の力を信じて受検（受験）に臨んで行こう！！

■ 「過去を後悔しなくていい。未来に怯えなくていい。

そんなところを見るのではなく、いまこの時に集中しなさい。」

アルフレッド・アドラー（オーストリアの精神科医）

■ 「必要なことはただ一つ、できると信じることだ。」

トニー・ロビンズ（アメリカの自己啓発書作家）

■ 「自分で自分を諦めなければ、人生に「負け」はない。」

斎藤 茂太（精神科医・随筆家）

■ 「人前で緊張するのは自然な反応です。プレッシャーが人を強くします。逃げ出したくなるような感覚がなくなったら、モチベーションもなくなってしまうような気がします。」

緊張した時はこういいましょう。「緊張してきた。よっしゃあー！」

松岡 修造（元プロテニス選手・スポーツ解説者）

■ 「夢をみることができるならあなたはそれを実現できる。」

ウォルト・ディズニー（ディズニー）

■ 「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道。」

イチロー（元メジャーリーガー）

■ 「今日なしえるだけのことに、全力を尽くせ。しかばば明日は一段の進歩があろう。」

アイザック・ニュートン（物理学者）

樹

吉野 弘

人もまた、一本の樹ではなかろうか。
樹の自己主張が枝を張り出すように
人のそれも、見えない枝を四方に張り出す。

身近な者同士、許し合えぬことが多いのは
枝と枝とが深く交差するからだ。
それとは知らず、いらだって身をよじり
互いに傷つき折れたりもする。

仕方のないことだ
枝を張らない自我なんて、ない。
しかも人は、生きるために歩き回る樹
互いに刃をまじえぬ筈がない。

枝の繁茂しすぎた山野の樹は
風の力を借りて梢を激しく打ち合わせ
密生した枝を払い落す——と
庭師の語るのを聞いたことがある。

人は、どうなのだろう？
剪定鉄を私自身の内部に入れ、小暗い自我を
刈り込んだ記憶は、まだ、ないけれど。

吉野 弘 詩集より

■仲間と共に学ぶ楽しさ～3年生・家庭科～



さつま芋と林檎をカットします

3年生が家庭科の授業で、「さつま芋と林檎のホットケーキ」づくりに取り組みました。限られた時間ですが、班のメンバーと協力しながら手際よく調理する姿に感心しました。出来上がったホットケーキはみんなで仲良く談笑しながら美味しくいただきました。（1月29日）



さつま芋と林檎をカットします



気分はパティシエです



味見をしてみます！！



ホットケーキミックスと具材を混ぜます



フライパンで生地を焼きます



美味しいそうな出来栄えです！！



みんなで仲良く試食します

